

ふくつの雛人形展2016



JR福間駅構内ふくつのギャラリー展示をのぞいてみました。まず目にとまったのは、東郷神社秘蔵のひな人形約20点で、歴史を感じました。また、糸まり会の作品は、繊細で手が込んでいます。そして、組み木夢工房の組み木人形は、何体かの人形を組み合わせた一枚の板として箱に収まるものでびっくりしました。昔、工房の製作現場を見せてもらったことがあり、この技法も代々継承されながら進化をしているなど感じました。

【山本武利さん】

宮司3区の新春餅つき大会



1月31日、区の人たちの親睦を深めるために宮司3区の第7回新春餅つき大会が宮司コミュニティセンターで開催され、約250人が参加しました。かまどを見張る人、餅をつく人、丸める人など、それぞれに餅つきを楽しんでいました。丸めた餅は、あんこや大根おろし、ごま、きな粉などで味付けして食べ、豚汁もふるまわれました。お腹いっぱいになり、参加した皆さんの和やかな顔がたくさん見られました。

【中山和恵さん】

ハーモニー広場での分別収集



公設分別ステーションには、昨年3月だけで1452ケースの資源ごみが持ち込まれました。分別収集は約15年前に始まり、市うみがめ課では「多くのごみがきれいに洗って水切りされ、分別が浸透した」ことを実感したそうです。親子で参加した小学6年生の鈴木龍伸くんと小学4年生の恒成くんは「手伝うのが楽しい」と意欲的です。分別のルールを小さい頃から学ぶことは大切で、市民の皆さんの小さな努力で分別が充実すると思いました。

【櫻井紀子さん】

しらぎく幼稚園の節分豆まき



2月2日、しらぎく幼稚園で豆まきがありました。「お腹の中にある悪い虫に豆をまきましよう」と先生が話し、園児たちはお互いのお腹に向かって「鬼はそとー」と豆を投げていました。突然、赤鬼と青鬼が現れ、園児たちはびっくりしています。勇敢に鬼に立ち向かったり、泣きながら逃げ回ったり、先生にしがみついたり大騒ぎですが、園児たちのパワーに押された鬼は頭を抱えて退散しました。着ぐるみの鬼さん、御苦労さまでした。

【福崎信一さん】



▲福間南小学校での料理教室の様子

食生活改善推進員養成講座を修了した会員が、「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、地域での触れ合いを深めながら、食生活や健康づくりに関する知識普及のために活動している全国組織です。安全な食材を選び、栄養のバランスを考えて楽しく調理し、

食生活改善推進員を御存知ですか

おいしく食べることを通して、元気で活力のあるまちづくりを目指しています。

みんなのことをつづける

・保育園児といっしょにみそ作りをしています。朝食にみそ汁を食べる習慣を身につけ、朝食の欠食をなくそうと取り組んでいます。
・健康や食の大切さを理解してもらうため、親子や男性向け、生活習慣病予防などの料理教室を行っています。
・郷土料理を次世代につなげたり食育を推進したりするため、小学生、中学生といっしょに料理教室などの活動をしています。

平成28年度は食生活改善推進員養成講座が開催予定です。詳細は後日、広報等でお知らせします。



毎月19日は「食育の日」です

福津市いきいき健康課健康づくり係(ふくとびあ)
☎34・3351
メール fukutopia@city.fukutsu.lg.jp



▲絶景のイルミネーション

勝浦郷づくりでは、毎年クリスマスが近づく12月初旬から下旬までの間、勝浦小学校の校庭やフェンスを利用してイルミネーションを飾り付けます。地元の人だけでなく、広く市民の皆さんに楽しんでもらっています。郷づくりの子どもたちが力を合わせて、

約6時間かけて飾り付けを行いました。国道495号線から見え、この時期、時間帯としては市内随一の絶景だと自負しています。また、飽きがこないように、その年の時勢に合ったものを取り入れる工夫もしています。昨年、地元の新原・奴山古墳群を構成資産とする「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、平成29年のユネスコ世界文化遺産の国内推薦が決定したことから、それをPRする懸垂幕を製作してライトアップしました。3月19日(土)には、新原・奴山古墳群で「ふくつ古墳まつり」が開催されます。勝浦郷づくりも一丸となって取り組ましますので、ぜひ御来場ください。(勝浦地域郷づくり推進協議会)



「郷づくり」とは？
市内をおおむね小学校区単位で八つの地域に分け、地域の住民や団体が、課題解決や魅力ある地域にするために活動しています。

福津市郷づくり支援課
(津屋崎庁舎)
☎52・4913
メール sato@city.fukutsu.lg.jp
郷づくりホームページ
http://wagamachi.city.fukutsu.lg.jp